

猛暑と森林

加藤正人（森林GISフォーラム会長）

今年の夏は記録的な猛暑が各地で続いている。夏の甲子園の熱闘が、生活にも熱を送り込んでいるようだ。8月21日、文部科学省への教育GP予算要求のヒアリングで高速バスを使い新宿で降りる。クーラーの利いた車内から灼熱の南国に来た感じである。歩道を歩くと、熱せられたフライパンの上を背広で歩いている気がする。この時期の東京出張は暑さと湿気、人の多さに参ってしまう。こうした体験をすると、本州の避暑地にいる信州のありがたさを感謝する次第である。そこで、森林のクーリング効果の話題をお届けする。私どもの信州大学のある長野県は県北部の長野市、県中央の松本市は盆地と都市のヒートアイランドの影響もあるのだろう、35℃を超える猛暑日もある。そんな日も、県の南に位置する伊那市は伊那平と呼ばれる開放的な南北に流れる天竜川の河岸段丘が続き、いつも松本市より2℃ほど低い。さらに、農学部のある南箕輪村は標高が772mと高く、隣町の伊那市より2℃ほど低い。従って、30℃前後である。5年間、河岸段丘の底に位置する伊那市野底（のそこ）の新築借家に住んでいた。敷地には駐車スペースが5台ほどあった。家の周りは駐車場を含め、コンクリート舗装で綺麗になっており、これは雑草を抜かなくてもよいので、庭の手入れは楽にできると喜んでいて。ところが、雑草は生えないが、夏になると太陽の照り返しとコンクリートの吸熱で、夕方になっても触ると熱い。西日のあたる部屋には大型のヨシズを2枚設置したが、外気よりも4℃ほど高かった。窓を開けると、コンクリートに熱せられた熱風が部屋に入り、クーラーを各部屋に設置した。それでも暑かった。電気代はかさむし、寝苦しかった。

昨年11月から、南箕輪村の築20年以上のコンクリート5階建て官舎の3階に移った。森に囲まれた大学の敷地内にあり、研究室まで自転車で2分である。しかし、部屋は狭く、クーラーが設置されていないので、夏が心配であった。隣人に尋ねると「窓を開けていれば涼しいのでクーラーはいらない」という。外から見ると全20戸、クーラーを入れていないようである。この官舎に住む人は皆、貧乏でクーラーを買うお金がないのか、質素な生活の信州人の生き方なのかと夫婦で笑いながら話していた。そして迎えた今年の夏、本州に来て初めて快適な夏を過ごしている。窓を開けると、構内演習林と苗畑から心地よい涼しい風が部屋を通り抜けていく。階段の古いコンクリート廊下もヒンヤリとしている。ようやく、避暑地にいることの喜びを味わえた。朝は窓を開けておくと、寝冷えしてもう1枚タオルケットが必要である。久しぶりに、あの北海道の朝晩の涼しさ（寝やすさ）を体験している。本当にありがたい。

本州の暑い夏と対処する上で、居住する建物は見栄えで選ぶのではなく、建物の周囲にある森林、木陰、土などの緑が大切であることを、身をもって知った次第である。伊那市に住んでいた時は、森林の位置、面積、標高、住宅情報をGISに入力して、日温度変化と温暖化傾向などをモデル化して森林のクーリング効果と最適居住地探索というのも暮らしに役立つ研究ではないかと考えた。「ハア、クシュン。今日は涼しすぎる。ここ、南箕輪村じゃ、あんまり役に立たない研究だなあ」。古い網戸のすき間から侵入した蚊に刺された腕をさすりながら、ガラガラ。ピシャ。窓を閉める。

残暑厳しい折、会員皆さまのご健康とご発展を切にお祈り申し上げます。

【開催予定行事のお知らせ】

学生・技術者のための森林リモートセンシング画像解析セミナー in 信州

森林機能評価と森林GIS

主催：森林GISフォーラム

共催：信州大学農学部アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）

後援：日本森林学会、日本写真測量学会、日本リモートセンシング学会、
森林計画学会、リモートセンシング技術センター（RESTEC）

開催日：2007年9月9日（日）～9月10日（月）

場 所：信州大学農学部26番教室 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

<http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/access/index.htm>

（開催概要）

講師：加藤正人（信州大学農学部 AFC）

内容：国産だいち（ALOS）衛星を使った森林の画像解析

- 1) 画像解析入門 データ入力、画像表示、強調
- 2) 演習林でのグランドトリスと森林調査
- 3) 画像解析中級 林相分類 ハイブリッド解析

使用ソフト：MultiSpec（無料ソフト 北米を中心に数万人のユーザー登録）

募集人員：40名

テキスト：改訂森林リモートセンシング 加藤正人編著 J-FIC発行

その他の講義資料は講師が用意

費用：学生6千円、一般1万円 1泊2日の宿泊食費代（懇親会）と

パソコン実習込み

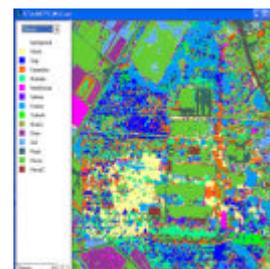
10日の宿泊は別途宿泊費（4400円）が必要です。

宿泊施設：フォレスト大芝（温泉つきの合宿施設） http://www.yado-navi.jp/yado/info_htl.asp?htlid=32

セミナー申し込み・問合せ（メールでお願いします）

信州大学農学部森林計測・計画研 satamori@hotmail.co.jp

その他、開催内容については <http://www.forestgis.jp/content/new/2007shinshu/Shinshui07.htm> をご覧ください。



（重要）Eメールアドレスをご連絡下さい。

情報配信の迅速化、省力化を図るため、ニューズレター等をインターネットによる配信に切り替えています。また、メールアドレスが変わったなどで連絡を取ることができない会員もおられます。お手数をお掛けしますが、事務局（mkanno@hfri.pref.hokkaido.jp）まで、タイトル「FGISメールアドレス」とし、ご連絡をお願いします。

第4回森林GIS学生フォーラム in 宇都宮

森林機能評価と森林GIS

主催：森林GISフォーラム

開催日：2007年11月1日(木)～2日(金)

場所：宇都宮大学 学生会館多目的ホール

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/index.html>

(開催趣旨)

森林GISは都道府県や市町村、森林組合に導入が進んでいますが、森林GISの研究に携わる学生数は多くはなく、研究連携も少ない現状にあります。そこで、森林GISの若手研究者育成と交流の場として、森林GIS学生フォーラムを開催いたします。

(内容)

1日(木)

11:00 賛助会員によるデモ(11:00～15:00)

12:00 会場受付

13:00 開会のあいさつ 加藤正人(森林GISフォーラム会長)

歓迎のあいさつ

13:30 話題提供「栃木県の森林GIS」(栃木県環境森林部)

13:50 学生発表

16:30 終了

交流会：船生演習林(学生コンテスト表彰を実施)

2日(金)

09:00 船生演習林見学

11:00 JR矢板駅解散(未定)

参加費：無料(非会員も参加可能です)

宿泊および交流会参加者は船生演習林泊、交流会と2日目朝食込みで3,000円

発表申し込み：10月5日まで 発表者は学生に限ります。発表内容は、GISのほかにデータベース、リモートセンシング、画像解析も含まれることとします。

問い合わせ先：松英恵吾(宇都宮大学農学部 matsue@cc.utsunomiya-u.ac.jp)まで

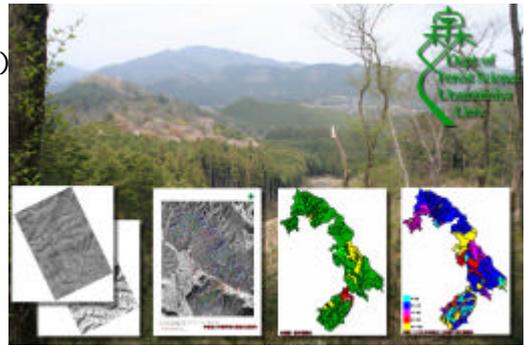
〒321-8505 宇都宮市峰町350 Tel&Fax 028-649-5532

学生コンテスト賞金：優秀発表者学部3名院生1名に各2万円、発表者全員に各5千円

交流会参加者には各千円の補助あり。

周辺情報：<http://www.tochigiji.or.jp/>

<http://www.tochigi-kankou.jp/>



地域セミナーについてお知らせ

森林 GIS フォーラム 事務局

森林GISフォーラムでは、年1回または2回、各地で地域セミナーを開催しています。今年度の開催地は熊本県に決定しました。開催日、会場については、下記を予定しています。開催内容については決まり次第、森林GISフォーラムのホームページでお知らせします。

- (開催日時) 11月14日(水) 11:00~17:00(時間は調整中)
- (開催場所) ホテル熊本テルサ 〒862-0956 熊本市水前寺公園 28-51
熊本県庁近くで詳細は下記 URL をご覧ください。
<http://www.kumamoto-terra.com/>
- (開催内容) 開催内容については開催県と交渉中ですが、下記の内容を予定しています。
11:00 ~ 16:00 賛助会員デモンストレーション
13:00 ~ 熊本県の森林GISについて(仮)
地域における森林GISの活用
賛助会員の話題提供 など
その他の講演内容については開催県および賛助会員と調整中です。

地域セミナー開催にあたり、講演者および会場確保にご協力頂いた熊本県農林水産部森林整備課様に感謝いたします。

賛助会員について

森林 GIS フォーラム 事務局

森林GISフォーラムをサポートしていただいている賛助会員は以下の8団体です。今年度より北海道地図株式会社様が入会されました。

【賛助会員一覧(敬称略)】

- ・株式会社パスコ <http://www.pasco.co.jp/>
- ・国土地図株式会社 <http://www.kokudochizu.co.jp/>
- ・国土防災技術株式会社 <http://www.jce.co.jp/>
- ・パシフィックコンサルタンツ株式会社 <http://www.pacific.co.jp/>
- ・日本電気株式会社
- ・東京スポットイメージ株式会社 <http://www.spotimage.co.jp/>
- ・社団法人日本森林技術協会 <http://www.jafta.or.jp/index-j.html>
- ・北海道地図株式会社 <http://www.hcc.co.jp/>

2007年度 第1回運営委員会の報告

日時：5月14日(月曜日)13時～15時

場所：東京大学農学部1号館3階316号室
森林経営学研究室

出席：

(役員)

加藤正人、松村直人

(運営委員)

鉢村 勉、佐野真琴、広嶋卓也(欠席)

(賛助会員)

日本電気(株) 山本憲生(欠席)

(株)パスコ 菊池譲

国土地図(株) 中尾護

国土防災技術(株) 松永佳之

パシフィックコンサルタンツ(株) 鈴木仁

東京スポットイマージュ(株) 横山猶吉

(社)日本森林技術協会 大萱直花

(事務局)

菅野正人、梅沢光一

次 第

1. 開会の挨拶

2. 2006年度活動報告

・ニューズレターの発行：Vol.36(2006.8)、
Vol.37(2007.1)、Vol.38(2007.4)を既発行。

・地域セミナー in 京都「流域管理と森林GIS」
：2006年7月21日(金) コーポイン京都(京
都市中京区)

・第3回学生フォーラム in 新潟：2006年12
月1(金)～2日(土) 新潟大学大学院自然
科学研究科

・森林GISフォーラム 東京シンポジウム：
2007年2月6日(火)東京大学農学部 弥生
講堂

3. 2006年度決算報告

次ページ会計報告のとおり

4. 2007年度活動計画

・地域セミナー：開催地の候補として九州を検
討。九州担当の寺岡運営委員を通じて開催地を
調整する。

・東京シンポジウム：2008年2月4日(月)(林
野庁計画研究会前日)、東京大学弥生講堂にて

開催予定。テーマについては「新生産システム」
が良いのではとの意見が出たが、詳細な内容に
ついては運営委の議論を受けつつ、ネット会議
で調整。

・学生フォーラム：2007年11月中旬を候補に
調整。関東地方での開催を予定。コンテスト賞
与は昨年に準じ、企業等からの供与は受けない。
松村副会長を窓口として対応。

・ニューズレター：年3回発行を予定(9月、
1月、4月)。ネット配信継続(ネット配信の
無い会員へは郵送)。

5. 会員の入退会

・賛助会員の入会：北海道地図(株)が入会申請
中で、運営委員会で正式承認

・個人会員の入退会状況：無料化、ネット対応
にしたことから増加。2007年4月現在の会員
は100名。メールアドレスが変わったなどで連
絡が取れない会員が10人ほどいる。ホームペ
ージなどを通じて告知をしてはどうかとの意見
があり、事務局で対応する。

・賛助会員のメリットが出るよう、シンポジウ
ムの際にポスターに協賛として入れる、ニュー
ズレターに今以上に記事を掲載いただくなど、
事務局としての一層の取組につとめる。

6. 運営委員の変更

2006-2007年度の運営委員について下記のと
おり変更した。

北海道 菅野正人(北海道立林業試験場)

高橋正義(森林総研北海道)

東北 西園朋広(森林総研東北)

野堀嘉裕(山形大学農学部)

7. その他

8. 閉会の挨拶

(2006-2007年度役員名簿) 2007.04.01現在

会 長	加藤正人	信州大学農学部
副会長	松村直人	三重大学生物資源学部
事務局長	菅野正人	北海道立林業試験場
総 務	梅沢光一	個人

(運営委員)

林野庁	鉢村勉	林野庁計画課
北海道	高橋正義	森林総合研究所北海道支所
東 北	野堀嘉裕	山形大学農学部
関 東	佐野真琴	森林総合研究所
関 東	広嶋卓也	東京大学大学院農学生命科学研究科
中 部	古川邦明	岐阜県森林科学研究所
関 西	野田巖	森林総合研究所関西支所
中 国	藤山浩	島根県中山間地域研究センター
四 国	佐々木秀和	愛媛県農林水産部森林局林業政策課
九 州	寺岡行雄	鹿児島大学農学部

(文責：事務局 菅野正人)

会計報告

収支状況	収入の部		支出の部	
	合 計	¥837,514-	合 計	¥843,602-
	会 費	700,000-	事業経費計	¥692,229-
	事業収入	134,500-	講師委託	20,000-
	雑収入	3,014-	学生フォーラム	162,000-
	期末		アルバイト	24,000-
	前期繰り越し	3,384,112-	旅費	242,234-
	当期残金	-6,088-	通信	5,390-
	翌期繰り越し	¥3,378,024-	会議	8,000-
			会場借料	150,485-
			事務消耗	80,120-
			事務局経費計	¥95,933-
			旅費	72,340-
			通信	6,080-
			会議	14,000-
			事務消耗	0-
			支払手数料	3,513-
			広告宣伝	¥55,440-
			(ホームページ運営を含む)	
資産状況	¥ 3,378,024- : 内訳 上記繰越金			

< 編集後記 > 森林GISフォーラムの事務局の菅野です。本号は2007年開催予定の3つの行事の開催案内と5月に実施した2007年度第1回運営委員会報告を掲載しました。信州大学で行われる画像解析セミナーが9月9日開催と時間のない中でのお知らせとなってしまう申し訳ありません。

美唄市周辺の夏は、8月上旬は気温は高くないが湿度が高い日が続き、10日過ぎから15日までは最高気温が35 近くまで達するという北海道では猛暑ともいえる天気となりました。しかし、16日には北の涼しい空気に入れ替わり、30 近くの日はあるものの夏の暑さは一段落といったところです。

最近、いくつかの都道府県から森林GISに関する問い合わせを受けています。他の都道府県の事例なども参考にシステムの改善を図りたいとのことでした。また、問い合わせを受けた都道府県からは今年2月の東京シンポジウムで発表した森林GISに関するアンケート調査結果を参考にしているという話でした。森林GISに関する各都道府県の取り組みを知るための入口として調査結果が役に立っているのかなと言う印象を持ちました。森林GISアンケート調査結果についてはニューズレター38号、および森林GISフォーラムホームページの下記URLに掲載していますので参考にいただければと思います。

森林GISアンケート調査結果 <http://www.forestgis.jp/content/new/2006Tokyo/Tokyo2006001.pdf>

次号は本号でお知らせした画像解析セミナー、学生フォーラムの報告、東京シンポジウムの開催案内などについて掲載予定です。今後とも森林GISフォーラムニューズレターをよろしく申し上げます。

森林 GIS フォーラム
ニューズレター Vol. 39
発行日 2007年 8月
編集人 菅野正人
発行人 梅沢光一

森林 GIS フォーラム事務局
〒079-0198 美唄市光珠内町東山
北海道立林業試験場 資源解析科 内
TEL:0126 (63) 4164 (ex.402) FAX:0126 (63) 4166
E-mail : mkanno@hfri.pref.hokkaido.jp (菅野正人)
ホームページ : <http://www.forestgis.jp/>



北海道庁の八重桜(2007年5月21日撮影)